

【Ⅱ】禁忌・禁止及び使用上の注意事項について

(家庭用低周波治療器、家庭用超短波治療器及び家庭用電位治療器)

家庭用電気治療器			
一般的名称	家庭用低周波治療器	家庭用超短波治療	家庭用電位治療器
禁忌・禁止	<p>1・下記の医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカ、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器。 ・心電計などの装着形の医用電子機器 	<p>【禁忌・禁止】</p> <p>1. 次のような人、部位には使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ・温度感覚喪失が認められる人 ・金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ人 ・使い捨てカイロや金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング及びカイロなど）を装着している人。必ず体から外してください。 ・導電性衣料（ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電防止用繊維など）を着用している人。必ず体から外してください。 ・濡れた包交物、絆創膏、湿布剤などの上に超短波を照射すると温度が上がる場合がありますので剥がしてください。 ・治療部位が汗で濡れていたり、また、塗膏剤などが塗られている場合は良く拭き取ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。 ● 次のような医用電気機器との併用は、誤作動を招く恐れがありますので使用しないでください。 ・ペースメーカ、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器。 ・心電計などの装着形の医用電気機器。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出血部位または月経時の腹部 ・ お酒を飲んだ人 ・ 睡眠薬を飲んだ人 ・ 乳幼児 <p>2. 次の人は介護者がいない場合、使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マヒのある人 ・ 寝たきりの人 ・ 12歳以下の子供 ・ 意思表示ができない人 <p>【併用禁忌】</p> <p>1. 次の医用電子機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。</p> <p>ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器</p> <p>心電計などの装着形の医用電気機器</p> <p>補聴器は、外してください。</p> <p>他の治療器とは同時に使用しないでください。</p> <p>2. 次の機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。</p> <p>他の電気製品（電気毛布や敷布、こたつ、あんか等）との同時使用はしないでください。</p>	
--	--	---	--

		<p>電源が入っていない、あるいはコードを接続していても、電気毛布や敷布、電気カーペット、電位（高周波を含む）電床マットなど導電性のあるものの上では使用しないでください。</p> <p>治療器を使用する場合は必ず電動ベッドの電源を抜いてください。</p>	
<p>使用上の注意</p>	<p>(1) 次の人は、医師と相談の上、ご使用ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 悪性腫瘍のある人 2) 心臓に障害のある人 3) 妊娠初期の不安定期または出産直後の人 4) 体温 38 ℃以上（有熱期）の人。 例 1. 急性炎症症状[けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。 例 2. 衰弱しているとき。 5) 安静を必要とする人 6) 脊椎の骨折、ねんざ、肉離れなど急性疾患の人 7) 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 8) 温度感覚喪失が認められる人（温熱機能をもつ機器に限る） 9) 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人。 <p>(JIS T 2003 より)</p>	<p>1. 次のような人は必ず医師に相談の上、ご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓に障害のある人 ・悪性腫瘍のある人 ・せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなどの急性[とう（疼）痛性]疾患の人 ・低温やけどをしたことのある人 ・知覚障害のある人 ・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人 ・血圧に異常のある人 ・安静を必要とする人 ・適用部位の皮膚に異常のある人 ・体温 38 ℃以上（有熱期）の人 例 1：急性炎症症状[けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期 例 2：衰弱しているとき ・病名などがはっきりしない人 ・その他、医師の治療を受けている人や体に異常を感じている人 	<p>(1) 次の人は、必ず医師とご相談の上ご使用ください。</p> <p>⑨から⑫は1時間を超えるタイマーを持つ機器で、1時間を超えて使用する場合に適用)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 悪性しゅよう（腫瘍）のある人。 ② 心臓に障害のある人。 ③ 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人。 ④ 体温 38 ℃以上（有熱期）の人。 例 急性炎症症状[けん（倦）怠感、 1) 悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。 例 衰弱している人。 2) ⑤ 安静を必要とする人。 ⑥ せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性[とう（疼）痛性]疾患の人。 ⑦ 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人。 ⑧ 温度感覚喪失が認められる人。（温熱装置

	<p>(1) 使用環境および使用条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 浴室など湿気の多い所、水のかかりやすい所での使用は危険ですので絶対しないでください。 2) 自動車を運転しながら使用しないでください。 3) 他の治療器との同時使用や、はり薬との併用はしないでください。 4) 乳幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしでは使用しないでください。 5) 治療目的以外には使用しないでください。 6) しばらく使用しても、効果が現れない場合、医師又は専門家に相談してください。 7) 治療導子などの装着部にポリアクリル酸ゲルなどの粘着剤を使用している機器は、“本品の使用によって発疹，発赤，かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談すること”といった旨の注意事項。 <p>(2) 使用前の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) しばらく使用しなかった時には、もう一度取扱説明書をよく読み、正常に作動するか確認してからご使用くださ 	<p>2. 身体に合った治療をしてください</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。 2) 定められた治療時間を越えないでください。 3) 数ヶ月以上、本器を使用しても症状の改善や効果が現れない場合は、使用を一時中止し、医師または専門家に相談してください。 4) 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。不明な点はお求めの販売店または、お客様相談室（資料末尾記載）に相談してください。 <p>3. 使用前の注意 使用場所や状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所で使用したり、保管しないでください。 2) 本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。 3) 間違った使用や乱暴な取扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。 	<p>をもつ機器に限る)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨ 高血圧の人。 ⑩ 不整脈のある人。 ⑪ 睡眠時無呼吸症の人。 ⑫ ぜん(喘)息の人。 <p>(2) 使用条件及び環境上の注意事項以下に記載した事項を守らないと事故や故障の原因となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 他の治療器と同時に使用しないでください。 ② 導子が濡れている場合には使用しないでください。 ③ 浴室などの湿度の高いところでは使用しないでください。 ④ 製造業者の指定した付属品以外は使用しないでください。 <p>(3) 使用前の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アースが正しく接続されていることを確認してください。（アース端子をもつ機器のみ） ② 全てのコードが正しく確実に接続されていることを確認してください。 ③ 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマなどが、正常に作動することを確認してください。 ④ しばらく使用しなかった場合は、前各号に
--	---	--	---

	<p>い。</p> <p>2) アースを正しく接続してください。(アース端子を持つ機器の場合)</p> <p>3) すべてのコードは容易に離脱しないよう、正しく確実に接続してください。</p> <p>4) 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが正しく作動するか確認してください。</p> <p>5) 導子を正しく装着してください。</p> <p>(3) 使用中の注意事項</p> <p>1) 使用中に身体の異常を感じたら、直ちに使用を中止し、医師もしくは弊社〇〇〇までご連絡ください。</p> <p>2) 機器に異常又は故障がある場合、すぐ使用を中止し、電源を切り弊社〇〇〇〇までご連絡ください</p> <p>3) 定められた治療時間をお守りください。</p> <p>4) 粘着パッドを使用して発疹、発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には使用を中止し、医師に相談してください。</p> <p>5) 長時間、温熱導子を皮膚に触れさせないでください。低温やけどの恐れがあります。(温熱機能がある機種の場合)</p> <p>6) 停電のときは直ちに電源を切り、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元</p>	<p>4) 他の電気製品とはできるだけ(2m以上)距離をあけて使用してください。</p> <p>5) 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが、正常に作動するか確認してください。</p> <p>6) しばらく使用しなかった治療器を使用するときは、前号に準ずるほか治療器が正常に、かつ安全に作動することを確認してください。</p> <p>7) 接地された導電部又は接地に対してかなりの導電容量をもつ部分で、高周波電流の予期しない伝導路を形成する可能性のある部分に接触がないようにしてください。特に、金属棒を使用したいす及びベッドは使用しないでください。</p> <p>電源・配線は正しく</p> <p>1) 交流100V以外では使用しないでください。</p> <p>2) コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。</p> <p>3) 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。また、プラグが破損したり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。</p> <p>4) 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしな</p>	<p>準じるほか機器が正常に、かつ、安全に作動することを確認してください。</p> <p>⑤ 導子(治療マット)を正しく設置してください。</p> <p>(2) 使用中の注意事項</p> <p>① 治療中の人に外部の人は触れないでください。</p> <p>② 身体に異常を感じたときには、使用を直ちに中止してください。</p> <p>③ 機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止し、電源を切ってください。</p> <p>④ 停電のときは直ちに電源を切り、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻してください。(該当する場合のみ)</p> <p>⑤ 導子に金属を接触させないでください。</p> <p>(3) 使用后および保管の注意事項</p> <p>① しばらく使用しても、効果が現れない場合は医師又は専門家に相談してください。</p> <p>② 操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。</p> <p>③ コード類を取り外す場合は、コードをもって引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないでください。</p> <p>④ 本体、付属品などは、次回の使用に支障の</p>
--	---	--	--

	<p>の位置に戻してください。</p> <p>7) 導子に金属を接触させないでください。</p> <p>(4) 使用後および保管の注意事項</p> <p>1) 使用後は必ず操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。</p> <p>2) コード類を取り外す場合は、コードを持って引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないでください。</p> <p>3) 本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、湿気の少ないところに整理、保管してください。</p> <p>4) 長期間使用しない場合は、乾電池を取り外してください。(乾電池を使用している機種の場合)</p> <p>5) 一次電池を内蔵する場合は、機器をある期間使用しない場合には一次電池を取り外してください。(乾電池を使用している機種の場合)</p> <p>*6) 再充電可能な電池を内蔵する機器の場合、取扱説明書に、安全な使用および適切な保守を確立するための説明を含める。</p> <p>【保守・点検に係る事項】</p>	<p>いでください。</p> <p>5) アース端子をもつ機器は、アースを正しく接続してください。</p> <p>6) すべてのコードは容易に離脱しないよう、正しく確実に接続してください。</p> <p>本体の取扱いについて</p> <p>1) 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。</p> <p>2) 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。</p> <p>3) 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。</p> <p>4) 本体の上に重い物や飲み物などを置かないでください。</p> <p>5) 出力口に金属製の棒やハサミ、ピン類などを差込まないでください。</p> <p>6) 本体背面、底面の通気孔を塞ぐような使い方はしないでください。(布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど)</p> <p>7) 本体を高いところから落としたり、強い衝撃を与えないでください。</p> <p>付属品(超短波導子・マジックベルトなど)とコード類</p> <p>1) 超短波導子を使用する際は、次の点に注意して正しく装着してください。</p>	<p>ないように清浄にし、湿気の少ない所に整理、保管してください。</p> <p>⑤ 再充電可能な電池を内蔵する機器の取扱説明書には、安全な使用及び適切な保守を確立するための説明を含める。(該当する場合のみ)</p> <p>⑥ 一次電池を内蔵する場合は、機器をある期間使用しない場合には一次電池を取り外す旨。(該当する場合のみ)</p> <p>【取扱い上の注意】</p> <p>① 取扱いを間違えると不具合を生じることがあるので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。</p> <p>② 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。</p> <p>【保守・点検に係る事項】</p> <p>① 故障した場合は、勝手にいじらず、販売業者又は製造販売元に連絡してください。</p> <p>② 機器は、改造しないでください。</p>
--	---	--	--

- (1) 常に使用前後の点検を励行し、故障または異常が認められた時には、下記製造販売業者またはお問合せ先に点検（修理）を依頼してください。
- (2) 導子の断線・破損、パッド汚れ、痛み具合を点検し、次回の使用に支障のないよう、清潔に保管してください。
- (3) 故障した場合は、勝手にいじらず、販売店又は製造販売元に連絡してください。
- (4) 機器は、改造しないでください。

- ①導子（コード、プラグを含む）が傷ついたり、破損しているか確認し、異常がある場合は場合は使用しないでください。
- ②導子が濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてから使用してください。
- ③導子を直接、素肌の上からあてて使用しないでください。服や乾いたタオルなどの上から使用してください。
- ④2つの導子を重ね合わせて使用しないでください。また、コードを束ねたり、巻き付けて使用しないでください。
- 2) コード類は容易に離脱しないように正しく、確実に差し込んでください。
- 3) コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。
- 4) 導子のコードには金属類を近づけないでください。また、他の電気製品のコードと交わらないようにしてください。
- 5) 導子ケーブルは、導体及び超短波を吸収しやすい機器と接触しないように配置する旨。
- 6) 本体の出力口に差込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 7) コード類を傷つけたり、破損したり、無

		<p>理に引張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。</p> <p>8) コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないでください。</p> <p>9) 導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱いってください。</p> <p>10) 次のような症状を起した場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。</p> <p>マジックベルトは天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起すことがあります。</p> <p>11) 治療導子などの装着部にポリアクリル酸ゲルなどの粘着剤を使用している機器は、“本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談してください”といった旨の注意事項。(該当する場合のみ)</p> <p>4. 使用中の注意</p> <p>1) 機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止し、電源を切ってください。</p>	
--	--	--	--

		<ol style="list-style-type: none">2) 身体に異常を感じたときには、使用を直ちに中止してください。3) 使用中は他の人や金属類に触れないでください。4) 導子に金属を接触させないでください。5) 治療中は、むやみに導子や導子のコードに触れないでください。6) 治療中、温感が高すぎると感じた時は、我慢せずに治療を中止してください。または、タオル等をあてて、熱さを弱めて治療してください。7) 本器や体に異常を感じた時は、使用を中止してください。8) 雷や地震、停電のときは直ちに電源を切り、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻してください。9) 電話やインターホンを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話器やインターホンの近くで治療しないでください。10) 使用中、導子コードの抜き差しはしないでください。また、抜く時は電源が切れていることを確認してから行ってください。11) 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）の上に絶対に置かないでください。また、二	
--	--	--	--

		<p>つの導子が重なる状態で放置しないでください。</p> <p>12) 汗をかいたら拭き取ってください。</p> <p>13) 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>5. 使用後の注意</p> <p>1) 操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。</p> <p>2) 電源が切れていることを確認したのち、導子類をはずしてください。</p> <p>3) コード類を取り外す場合は、コードをもって引抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないでください。</p> <p>4) 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。</p> <p>【貯蔵・保管方法及び使用期間等】</p> <p>1. 貯蔵・保管方法</p> <p>1) 本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、湿気の少ない所に整理、保管してください。</p> <p>2) お子様の手が届かない所に保管してください。</p>	
--	--	---	--

		<p>3) 機器をある期間使用しない場合には一次電池を取り外してください。(一次電池を内蔵する場合)</p> <p>【取扱上の注意】</p> <p>1) 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品等を廃棄するときは、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。</p> <p>【保守・点検に係る事項】</p> <p>機器を正しく安全に使用するために、次の事項に注意してください。</p> <p>1. 日常点検</p> <p>1) 治療器及び付属品は、使用に際し必ず正しく作動することの点検をしてください。</p> <p>2. 清掃</p> <p>1) 機器及び付属品の使用後は必ず清掃し、次の使用に支障のないようにすること。</p> <p>2) お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。また、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。</p> <p>3) お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗い等もしな</p>	
--	--	--	--

		<p>いでください。</p> <p>4) 変色の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。</p> <p>3. 定期点検</p> <p>1) 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために1年を過ぎたら点検を受けましょう。特に付属品類は消耗品ですので、定期的に点検し交換してください。</p> <p>2) しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。</p> <p>3) 6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。</p> <p>4. 故障及び取扱いについて</p> <p>1) 治療器が故障した場合は、勝手にいじらず販売店又は製造・販売元に連絡してください。</p> <p>2) 治療器は改造しないでください。</p> <p>3) 本体ケースは絶対に開けないでください。</p>	
--	--	---	--